

Governor's Monthly Letter 2018-19

重要文化財 本宮堰堤



- 2 ガバナー挨拶
- 3 2610 地区R財団補助金事業報告、富山第2分区IM開催報告
- 4 金沢南RC創立50周年記念式典報告、高岡万葉RC創立30周年記念式典報告、東となみRC創立40周年記念祝賀会報告
- 5 高岡RC・板橋RC姉妹締結50周年記念式典懇親会報告、会長エレクト研修セミナー参加報告、第3回地区クラブ社会奉仕委員長会議報告
- 6 地区国際青少年交換受入学生修学旅行報告、インターアクトクラブ台湾研修報告、第4回ロータリー財団留学生活動報告
- 7 例会出席報告(3月度)、3月会員移動、5月行事予定
- 8 ロータリー財団・米山記念奨学会寄付者、服喪記事、編集後記

青少年奉仕月間

国際ロータリー第2610地区
2018-19年度 ガバナー事務所

2018-19 Governor 若林 啓介

〒930-0048 富山県富山市白銀町2-5 株式会社若林商店内
TEL 076-482-5584 FAX 076-482-5595
E-mail wakabayashi2018-19@rotary2610.gr.jp



5月：青少年奉仕月間について

2018-19年度ガバナー 若林 啓介

ロータリーは、創立以来、子供や青少年を支援し、次世代のリーダーを育てるための活動を継続的に行ってきました。多くのロータリアンが既にご存知のこととは思いますが、この機会に、改めてロータリー青少年奉仕部門の四プログラムについて簡単に説明します。是非これらのプログラムを有効にご活用いただき、青少年奉仕活動に努めていただけるようお願い致します。尚、米山記念奨学会プログラムも広義の青少年奉仕と言えますが、こちらは日本のロータリー独自の多地区合同プログラムで、昨年10月(第4号)に書かせていただいたので今回は割愛します。



インターアクト

12～18歳を対象としたクラブで、学校または地域社会をベースとして活動しています。「インターアクター」と呼ばれる会員は、少なくとも月2回ミーティングを開き、年に2回、奉仕活動(学校や地域社会での活動1回と、国際理解を育むための活動1回)を実施します。インターアクトを通じて、若い人たちに、地域社会のリーダーから指導を受け、世代を超えた絆を築き、リーダーシップのスキルを育み、海外の若者たちと交流する機会を与えます。



ローターアクト

18～30歳を対象とする、リーダーシップ能力を磨き、

世界中に友人を作りながら社会で起きているさまざまな課題に斬新な解決策を見つけたいという意欲にあふれた青年男女のためのクラブです。ローターアクトクラブでは、ローターアクターと呼ばれる会員自らが組織を運営し、資金を管理し、地域社会にとって重要な活動や奉仕プロジェクトを企画・実施します。

RYLA (Rotary Youth Leadership Awards)

当地区では実施していませんが、RYLA「ロータリー青少年指導者養成プログラム」は、クラブや地区(または複数地区合同)によって実施される、地域社会の次世代リーダーが連携し、アイデアを広げ、行動を起こすきっかけを生み出すためのリーダーシップ養成プログラムです。イベントは、1日のセミナーや3日間～1週間の合宿など、目的、リソース、参加者の種類によってさまざまな形で実施されます。参加者の年齢に制限はありません。

青少年交換

世界100カ国以上で実施され、年間7,000人以上の高校生や大学生が参加しているロータリー青少年交換は、ロータリークラブの支援の下、15～19歳の学生が外国語や異文化を学びながら、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。平和の実現を目指して国際理解を促し、若者一人ひとりの育成を支援します。当地区は、毎年10人前後の高校生を約1年間、米国・カナダ・オーストラリアに派遣し、概ね同数の高校生をこれらの国から受け入れています。また、RID1630(ベルギー・ルクセンブルグ)とは、3年を1サイクルとして、両地区の大学生40名前後が交互に参加する短期交換プログラムを実施しています。

国際ロータリー第2610地区 2018-2019年度 R財団地区補助金 現況報告 (石川県)

NO.	16-17 補助金 申請有無	17-18 補助金 申請有無	クラブ名	プロジェクト名 ★印は前年度継続事業	実施時期
1	○	○	河北南	果実の採れる森づくり	2018.7.1 ~ 2019.3.31
12	★	★	加賀白山	日本遺産・北前船主集落加賀橋立「西谷家」調査支援	2019.2.27 ~ 2019.3.2
24	★	★	七尾みなと	七尾こども未来プロジェクト2018(描こう・ふる里 みんなの宝物)	2018.7.1 ~ 2019.1.31
25	★	★	志賀	志賀高校存続プロジェクト	2018.7.1 ~ 2019.6.30

国際ロータリー第2610地区 2018-2019年度 R財団地区補助金 現況報告 (富山県)

NO.	16-17 補助金 申請有無	17-18 補助金 申請有無	クラブ名	プロジェクト名 ★印は前年度継続事業	実施時期
40	○	○	新湊	フレンドシップin新湊	2018.10.1 ~ 2018.10.2
43	○	○	高岡万葉	ラオス 職業訓練支援	2018.11.17 ~ 2018.11.21
48	★	★	小矢部	小矢部市内5小学校「新入学児童へ交通安全ランドセルカバー贈呈」事業	2019.4.5 ~ 2019.4.5



河北南RC・果実の採れる森づくり



加賀白山RC・日本遺産・北前船主集落加賀橋立「西谷家」調査支援



七尾みなとRC・七尾こども未来プロジェクト2018(描こう・ふる里 みんなの宝物)



志賀RC・志賀高校存続プロジェクト



新湊RC・フレンドシップin新湊



高岡万葉RC・ラオス 職業訓練支援



小矢部RC・小矢部市内5小学校「新入学児童へ交通安全ランドセルカバー贈呈」事業



富山第2分区IM開催報告

3月12日開催

3月12日(火)に富山市の富山第一ホテルにて富山第2分区 I.M.を開催いたしました。今年度は特別出席者として、若林啓介ガバナー、毛利一朗地区幹事、榊田敬次郎パストガバナー、高柳功パストガバナーをお迎えし、10クラブより約280名が集まりました。

富山みらいRCがホストを務め、12時15分に澤田悦守ガバナー補佐の点鐘で開会いたしました。

記念講演は、国際ロータリー第2780地区茅ヶ崎湘南RCの松宮剛様(2004-2005年度地区ガバナー)より、「ロータリーと職業奉仕」と題してご講演いただきました。クラブの活性化には、会員相互の交流、職業上のスキルを生かした奉仕活動



や職業環境に関する議論などが必要で、また持続可能な社会の為に「GDPの伸び率だけではない指標の議論と提案があるべき」とお話しいただきました。

会長 河上 浩康(富山みらいRC)

金沢南RC創立50周年記念式典

3月5日開催

3月5日、金沢南RCでは、創立50周年を迎え、若林ガバナー、谷本石川県知事、山野金沢市長らをお招きし、記念式典が執り行われました。

記念式典に先立って、社会奉仕事業として、箱根駅伝などで実績を出されている青山学院大学陸上部監督の原晋さんの講演会が開催され500名を超える参加者は時間を忘れて聞き入っていました。



記念式典では、青少年奉仕事業として、当クラブの伝統である少年サッカー大会を元ワールドカップレフェリーを務めた西村雄一さんを招いて開催したこと、金沢市に対して少年サッカーゴール

などの寄贈が行われたこと、また、新しく国際奉仕事業としてチャンマーの子供たちに対するランドセル寄贈事業を始めたこと、当クラブ伝統の取り組みである里山里海保身にちなんだ図書を新設予定の県立図書館に寄贈することなど、様々な奉仕事業を紹介しました。



「元気なロータリークラブをつくろう」をクラブ目標とし、奉仕の精神を具体化した活発な事業を振り返ることで、私たちのクラブを見つめなおすよい機会となりました。

会長 塩梅 修 (金沢南RC)

高岡万葉RC創立30周年記念式典

4月7日開催

2019年4月7日(日)、高岡万葉RC創立30周年記念式典をホテルニューオータニ高岡にて開催いたしました。「30年を基に新たな未来へ」をテーマに掲げ、交換学生発表会、記念講演、記念式典、記念祝賀会の4部構成で行いました。

交換学生発表会では、はるかカナダから受入交換学生が来てくれ、3名の派遣交換学生と合わせて4名よりスピーチをいただき、みなさんの素晴らしいスピーチに触れ、改めて国際青少年交換事業の意義を確認することができました。

また、記念講演では、医学博士の元国立感染症研究所室長で尺八奏者の岸本寿男氏より「音楽は心のビタミン」～音楽でつながる輪と和～と題して、岸本氏の尺八と荒木博司氏のギターの演奏を交えながら、人間の健康と音楽との関係について講演を賜りました。

記念式典では、記念事業である3事業の目録贈呈を行い、ス



ライドにて30年の歩みを振り返り、最後の記念祝賀会では、友好クラブの多賀城RC20名を合わせて148名の出席の中、会員で結成している「万葉バンド」による歌と演奏の余興で大いに盛り上がり、ロータリアン同士の友情を深めました。

我々はこの日を境に、気持ちを新たに奉仕活動に取り組み、クラブと地域の発展に邁進することを誓い合い、改めて今後のクラブのあり方を確認することができました。

幹事 喜多 進 (高岡万葉RC)

東となみRC創立40周年記念祝賀会

4月10日開催



昭和54(1979)年4月12日に創立して、満40年を迎えました。発足時36名でスタートし、現在は18名の会員です。井波庄川RCの名称は、7年前に現在の東となみRCに変更しました。40周年記念祝賀会は、坂井彦就会長の経営する三楽園で、若林ガバナー、津田パストガバナー、穴田富山第3分区分ガバナー補佐、八塚富山第4分区分ガバナー補佐及び、富山第3・4分区分の各クラブ会長・幹事28名を来賓に開催されました。小西勝実行委員長長の挨拶で、記念事業について、クラブのテリトリーが砺波市・南砺市のため、両市の青少年育成のため、保育園幼稚園等への児童図書購入費用として、各々50万円、合計100万円の寄付を行ったことが紹介されました。また、坂井会長は歓迎の言葉の中で、50周年に向け、新規の奉仕事業の立ち上げを起

点として、課題の会員増強への強い意志表明があり、創立以来40年の永年在籍の横山豊介会員に記念品が贈呈されました。若林ガバナーの祝辞と乾杯で祝賀会が開宴となり、坂井会長が提唱され、県にも採用された「3015運動(宴会開始後30分、終了直前15分の食事タイム:食品ロス防止)」に合わせた、ハーブ演奏などを楽しみ、津田達雄パストガバナーの万歳三唱、次年度第3分区分ガバナー補佐予定の齋藤彰副会長のご支援のお願いと御礼の言葉で閉宴となりました。



会報委員長 山本 武夫 (東となみRC)

高岡 RC・板橋 RC 姉妹締結 50 周年記念式典・懇親会

3月14日開催

3月14日(木)高岡において板橋 RC との姉妹締結 50 周年記念式典・懇親会を開催いたしました。板橋 RC よりメンバー 21 名、奥様 15 名もご参加頂きました。

富山県知事代理 公営企業管理者 山本修様、高岡市長ご夫妻、若林ガバナーご夫妻、高岡地区内の会長幹事、スポンサークラブの富山 RC から会長エレクトの町野利道様にも駆けつけて頂き式典を祝福して頂きました。

その後も懇親会、そして次の日の 3 月 15 日(金)にはエクスカッションとして高岡市内の観光、夜にはお別れパー

ティーとハードなスケジュールをこなして頂き、1969 年 4 月 3 日に台北市の国賓大飯店で調印式を行ってから 50 年間培ってきたお互いの友好関係をより深めるいい機会となりました。

国際奉仕委員長 山口洋祐 (高岡 RC)



会長エレクト研修セミナー報告

3月17日開催

平成 31 年(2019) 3 月 17 日、金沢 RC をホストクラブとする 2019 - 2020 年度の会長エレクト研修セミナーが、金沢ニューグランドホテルにおいて開催されました。

まず、松本耕作ガバナーエレクトよりサンディエゴでの国際協議会参加報告並びに、マーク・ダニエル・マローニー RI 会長エレクトのプロフィール、ポリオ撲滅にむけての取り組み紹介がありました。そして、地区活動方針として「一歩前進しよう (one step ahead)」が発表され、「未来に適応すること、変化を導くこと」の大切さを述べられるとともに、各クラブの活動を一歩前進させるよう会長エレクトの皆さんに呼びかけられました。

ガバナー補佐自己紹介の後、地区主要事業計画について、



柳生好春次期 RLI 委員長、八木圭一朗次期ロータリー財団委員長、村中高次郎次期ロータリー米山記念奨学会委員長、中田吉則次期国際青少年交換委員長から詳細な説明がなされました。さらに、瀬戸和夫次期地区幹事から地区の組織・行事について、中野一輝次期財務委員長から資金案・予算案等について詳細な説明がなされました。セミナーの最後に若林啓介ガバナーが「本日の学んだことをもとにクラブの活動計画を立てて欲しい」と所感を述べられました。

セミナー終了後、松本耕作ガバナーエレクトの開宴挨拶、若林啓介ガバナーの乾杯の後、懇親会が始まりました。美味しい料理とお酒を楽しみながら参加者同士が打ち解けた雰囲気になっていたのが印象的でした。次期地区大会実行委員会の八田稔委員長の地区大会 PR、ホストクラブを務めた野上兵一金沢 RC 会長の閉宴挨拶の後、「手に手つないで」を全員で合唱し、和やかな雰囲気のうちにお開きとなりました。

次期ガバナー事務所 月信担当 副幹事
吉田 克也 (金沢 RC)

第 3 回地区クラブ社会奉仕委員長会議

3月9日開催

去る 3 月 9 日(土)石川県地場産業振興センターにて、今期第 3 回の地区並びにクラブ社会奉仕委員長会議を開催致しました。地区からは、若林ガバナーはじめ 12 名、クラブからは 35 名の委員長等の方々の出席をいただきました。

今回の委員会は、各クラブの今年度の社会奉仕事業の実施報告です。出席委員全員に発言して頂きたいので、一人 3 分から 5 分以内での持ち時間で発表して頂きました。



ほとんどのクラブの事業は継続事業でありました。これは、前年度と同様の現象です。私は委員長として、継続事業は勿論「重要」な事ですが、新しい事業に挑戦する事もクラブの発展に寄与し、そして何よりもロータリーの認知度の向上に貢献するものと信じています。

本年度も残り少ない日々になってまいりましたが、次年度のクラブ社会奉仕委員の皆様と本年度の委員の方々との新しい企画への挑戦に望んでいただければと願っています。

地区社会奉仕委員長 西 三也 (金沢香林坊 RC)



地区国際青少年交換受入学生修学旅行

3月23日～26日開催

3月23日より26日までの3泊4日で、受け入れ学生9名で恒例になっている修学旅行を行いました。外国には日本のような修学旅行、旅行しつつ学ぶための団体旅行は無いようなので、彼らは今回の旅行を単純に楽しんだようでした。それでも1日目は朱色に彩られた宮島厳島神社の歴史と美しさに興味を持ち日本文化を学びました。2日目は原爆ドーム・平和記念公園を見学しましたが、想像以上の大きく悲惨な戦争被害に目を奪われ、ボランティアの英語ガイド

に耳を傾けていました。交換留学プログラムの基本は平和親善大使であることから有意義であったと思います。3日目はユニバーサルスタジオジャパンで自由行動、4日目は大阪城の見学。4日間を通して留学生同志が心置きなくコミュニケーションができ、ほとんど英語で生活できたことで日本文化を見聞しつつ、併せてフラストレーションの解消ができたものと思います。

国際青少年交換委員会
慶野 達二(魚津西RC)



インターアクトクラブ台湾研修報告

3月22日～26日開催

今年度のインターアクト海外研修は、一昨年と同様、台湾で実施しました。今回の研修も現地学生との交流と観光を含む台湾文化の体験を二つの柱とする4泊5日の旅行でした。

「交流」については、地元大学生のガイドによる半日間の台北市内散策(2日目)と地元大学生との文化交流会(4日目)を行いました。大学生との交歓・交流は、時間の経過とともにたいへん活発なものとなり、日頃接している友人とは異なる同世代の人たちとの心に残る異文化交流になったと思います。

「台湾文化の体験」としては、九份や士林夜市の観光、故宮博物院の見学、八田與一記念館や烏山頭ダム、忠烈祠の訪問などを行いました。台湾文化を体験し見聞を広めるとともに、日本と台湾との過去からのつながりについても実感できたと思います。

今回の研修5日間を通してインターアクター15名の皆さんは、日本国内では経験できない貴重な体験をすることができたものと確信しています。

インターアクト委員長 加藤 真一(金沢RC)



第4回ロータリー財団留学生報告

金沢医科大学の薄田大輔です。ガンビア留学4回目の活動報告をさせていただきます。

病院での研究参加者登録・検体採取は、1月11日(Basseから研究所本部のあるFajaraへの移動日)まで継続しました。最終的な登録数は、合計547(病院142、村405)で、当初の目標数を達成することができました。現地で得たデータおよび検査結果は、研究従事者により速やかに研究所内のデータベースに保存しました。

その後、Fajaraでは、Basseで未実施の各種検査(顕微鏡



Fajaraにある研究所本部での顕微鏡検査の様子



研究所本部での遺伝子検査の様子

検査、遺伝子検査)を実施し、併せて今回の研究論文執筆も継続しました。

1月は年間で最も寒い時期(とは言っても、朝晩の気温が18℃程度まで下がる程度)でした。2月以降は徐々に気温が上昇し暑くなってきましたが、既に乾期に入っていることもあり、日本のような蒸し暑い不快な感じはありません。Fajaraには、レストラン、スーパー、インド人経営の散髪屋などがあり、生活に必要なものが比較的手に入りやすく、Basseに比べると生活しやすい印象を受けました。研究や論文執筆で疲れた時には、週末などを利用して、大西洋を眺めることができる近くのビーチに行って気分転換を図りました。

なお、Basse地域にはロータリークラブがないため、現地ロータリアンとの交流ができず寂しい思いをしておりましたが、1月にFajaraに戻った後は、再度定期的にミーティングに参加し、積極的に現地ロータリアンとの交流を図りました。また、昨年中にBanjulロータリークラブの会長の交代があったため、新

会長に就任のお祝いと挨拶をさせていただきました。

3月17日夜、無事に日本に最終帰国しましたが、現地で知り合ったロータリアンとは様々なソーシャルネットワークを通じて



研究所近くのビーチで疲れを癒している様子



Banjulロータリークラブ新会長との写真

引き続き交流させていただきたいと考えており、私自身が西アフリカと富山・石川地区のロータリークラブをつなぐ架け橋役となればと考えております。

薄田大輔先生

金沢医科大学臨床感染症学に所属。2018年春からアフリカのMRC(メディカルリサーチカウンシル)のガンビア共和国ユニットに肺炎・非定型菌感染症等早期診断における検査機器有用性の研究にロータリー財団グローバル補助金奨学生として留学されました。この3月に1年間の研究を終え無事帰国されました。

例会出席報告(3月度)

2019年3月末日現在

分 区	ク ラ ブ 名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)			
						期初	月末	増減	
石川第1分区分A	河 北	69.33	49	77.29	38	26	25	-1	
	河 北 南	68.48	51	70.13	54	25	24	-1	
	金 沢	90.06	15	90.37	9	118	136	18	
	金 沢 東	84.95	21	82.69	22	103	109	6	
	金沢香林坊	74.69	42	80.78	32	114	117	3	
	金 沢 南	90.48	13	88.28	13	55	57	2	
	6 R C	79.67	5	81.59	5	441	468	27	
石川第1分区分B	白 山	72.86	44	74.62	44	38	38	0	
	白山石川	77.82	35	78.25	36	34	36	2	
	金沢百万石	72.65	45	62.04	63	46	39	-7	
	金 沢 北	68.21	52	72.46	53	45	46	1	
	金沢みなと	79.71	33	80.49	33	45	47	2	
	金 沢 西	83.92	24	85.98	19	46	51	5	
	野々市	86.84	20	82.41	27	41	42	1	
7 R C	77.43	6	76.61	7	295	299	4		
石川第2分区分	加 賀	92.79	7	91.65	8	60	59	-1	
	加賀中央	92.74	8	89.38	11	33	32	-1	
	加賀白山	91.67	10	91.90	7	26	27	1	
	小 松	83.85	25	78.35	35	54	55	1	
	小 松 東	71.73	46	73.48	49	35	35	0	
	小松シティ	75.00	40	77.77	37	35	35	0	
	能 美	83.34	26	88.21	14	56	55	-1	
	山 中	70.00	48	67.46	58	21	20	-1	
8 R C	82.64	4	82.27	4	320	318	-2		
石川第3分区分	羽 咋	76.92	37	84.08	21	26	26	0	
	中能登まほろば	75.00	40	82.46	26	16	17	1	
	中 島	80.00	32	82.59	23	10	9	-1	
	七 尾	73.82	43	76.61	39	47	50	3	
	七尾みなと	88.60	16	84.35	20	49	50	1	
	志 賀	76.48	38	68.92	56	17	18	1	
	富 来	64.40	57	67.94	57	14	15	1	
7 R C	76.46	7	78.14	6	179	185	6		
石川第4分区分	穴 水	93.84	6	81.22	31	14	15	1	
	能 都	97.37	4	87.44	17	38	40	2	
	珠 洲	84.72	22	81.49	30	22	20	-2	
	内 浦	63.97	59	66.99	61	16	18	2	
	輪 島	96.67	5	94.81	4	29	29	0	
	5 R C	87.31	1	82.39	3	119	122	3	
富山第1分区分	朝 日	64.00	58	72.99	51	23	25	2	
	黒 部	66.66	54	73.55	48	11	12	1	
	黒部中央	76.00	39	76.29	41	23	25	2	
	入 善	62.50	61	73.15	50	7	6	-1	
	宇 奈 月	59.92	63	69.70	55	21	18	-3	
	魚 津	87.66	18	76.34	40	29	33	4	
	魚 津 西	80.35	30	80.02	34	28	29	1	
	7 R C	71.01	9	74.58	9	142	148	6	
	富山第2分区分	越 中 八 尾	88.04	17	87.86	16	23	24	1
		上 市	79.66	34	73.96	46	18	18	0
		立 山	63.15	60	67.16	59	18	19	1
		富 山	70.66	47	74.20	45	101	100	-1
		富山シティ	56.38	64	58.86	64	81	81	0
		富 山 南	65.63	56	67.08	60	58	61	3
		富山みらい	69.08	50	72.50	52	77	76	-1
富 山 中		80.12	31	82.55	25	60	58	-2	
富 山 西		90.56	12	93.49	5	63	62	-1	
富山大手町		61.23	62	76.21	42	52	53	1	
10 R C	72.45	8	75.39	8	551	552	1		
富山第3分区分	射 水	81.70	27	87.95	15	32	30	-2	
	東となみ	66.67	53	73.79	47	20	18	-2	
	新 湊	84.03	23	82.13	28	43	45	2	
	新湊中央	81.25	28	76.09	43	13	14	1	
	高 岡	100.00	1	100.00	1	73	76	3	
	高岡万葉	97.99	3	97.94	3	72	70	-2	
	砺 波	87.50	19	89.70	10	51	54	3	
	7 R C	85.59	2	86.80	1	304	307	3	
	富山第4分区分	氷 見	80.95	29	82.56	24	43	43	0
		氷見中央	65.71	55	66.52	62	14	16	2
南 砺		91.06	11	89.03	12	47	47	0	
小 矢 部		90.16	14	87.10	18	38	37	-1	
小矢部中		92.37	9	92.05	6	45	44	-1	
高 岡 北		77.81	36	82.11	29	40	39	-1	
高 岡 西		100.00	1	100.00	1	52	50	-2	
7 R C	85.44	3	85.62	2	279	276	-3		
64 R C 合計	79.78		80.38		2,630	2,675	45		

5月行事予定

2019年4月15日現在

日 時	行事予定	場 所	備 考
5月〈青少年奉仕月間〉			
12日 (日)	氷見RC創立50周年記念式典	氷見ふれあいスポーツセンター他	14:00~19:30
25・26日 (土・日)	第24回日本青少年交換研究会・金沢会議	金沢	
25・26日 (土・日)	地区国際青少年交換派遣・受入合同オリエンテーション(第4回)(北米帰国準備)	金沢	

R 財団寄付者

使途指定寄付

金沢南	金沢南RC創立50周年記念 年次基金\$4,545.46	3月15日
宇奈月	年次基金(シェア)	3月29日
小矢部中	クラブ寄付 \$3,000	3月29日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

金沢南	北 敏一	3月15日	2回
金沢西	小林 洋	3月19日	1回
金沢西	高橋 功	3月19日	2回
加賀中央	北川 道子	3月28日	5回
加賀中央	小前田外喜男	3月28日	5回
加賀中央	三輪 邦彦	3月28日	3回
加賀中央	中蔵 一	3月28日	2回
加賀中央	中谷 亨	3月28日	2回
加賀中央	下出 昭江	3月28日	2回
加賀中央	水口 節子	3月28日	1回
小松シティ	小林 彦幸	3月19日	1回
七尾みなと	蛭浦 昭二	3月25日	7回
新湊	安田 泰博	3月28日	6回
新湊	穴田 茂	3月28日	4回
小矢部中	津田 隆	3月29日	4回
小矢部中	岩田 豊	3月29日	1回

ポール・ハリス・フェロー

金沢西	徳沢 真二	3月19日
魚津	川岸 芳雄	3月22日

米山記念奨学会寄付者

米山功労者 メジャードナー

金沢	新家 久司	3月19日	17, 18回
七尾みなと	蛭浦 昭二	3月25日	10回

米山功労者 マルチプル

金沢西	清水 浩	3月19日	4回
七尾みなと	蛭浦 昭二	3月25日	7.8.9回

米山功労者

野々市	齊藤 邦博	3月14日	1回
新湊	浅井 育弘	3月28日	1回

米山功労者

金沢南	金沢南RC創立50周年記念	500,000円	3月15日
宇奈月	クラブ支援奨学金の為の特別寄付	840,000円	3月13日

会員異動

《入会》

河北南	川端 茂	3月11日
金沢	小島 潔	3月13日
金沢	高本 和哉	3月13日
金沢東	山瀬真由美	3月4日
金沢東	山城 大助	3月4日
金沢西	馬場 陽司	3月1日

加賀中央	中田 弘樹	3月13日
小松	東 和史	3月7日
能都	坂本 哲宏	3月28日
黒部	松倉 美樹	3月20日
魚津	魚津 悟司	3月1日
越中八尾	上田 健一	3月1日
高岡万葉	村本公一郎	3月22日
砺波	坂本 拳弥	3月4日

《退会》

河北南	小田 護	3月5日
金沢	坂井 健一	3月27日
金沢	直山 雅伸	3月27日
金沢東	粟田 真人	3月28日
金沢東	椿原 正浩	3月29日
金沢南	柳原 行生	3月31日
金沢みなと	川端 良次	3月31日
金沢西	樋口 祥昭	3月29日
加賀	岸上 淳司	3月31日
小松東	多田 隆保	3月19日
中島	宮本惣一郎	3月31日
七尾みなと	宮川 輝之	3月31日
能都	大谷 浩一	3月28日
珠洲	石井 直樹	2月28日
輪島	安倍 真紀	3月31日
富山	浅川 幸雄	3月31日
富山	御調 隆政	3月31日
富山	伊藤 博	3月31日
富山	丹波 重和	3月31日
富山中	藤野 修	3月31日
富山西	池上 元伸	3月31日
高岡西	磨伊 金静	3月31日
高岡西	定塚 康弘	3月31日
高岡西	谷口 進	3月31日

ご冥福をお祈りいたします



内橋 助松 (宇奈月RC)
3月25日(享年88歳)
内橋税理士事務所代表
ロータリー在籍20年
2002-03クラブ会長



宮本 次郎 (富山RC)
3月14日(享年84歳)
㈱宮本工業所相談役
(元代表取締役社長)
ロータリー在籍43年
富山RC第51代会長



中村 勝典 (小矢部中RC)
3月14日(享年58歳)
㈱三和代表取締役
ロータリー在籍20年
2000-2001年度クラブ幹事

編 集 後 記

常願寺川は日本有数の急流である。明治時代、治水工事の技術者として政府から派遣されたオランダの技師ヨハネス・デ・レーケをして「これは川ではない。滝だ」と言わしめたという逸話が残るほどだ。安土桃山時代(1580年)、国主だった佐々成政も、霞堤による治水対策に取り組み、当時の堤防の一部が今も残っている。その後起きた安政の大地震による富山の崩壊は、崩壊土砂量が4.1億m³に達したといわれ、地震以降、流域では激甚な水害、土砂災害が頻発し、治水の成否は流域住民の死活問題となった。

大正15年に国の直轄事業として治水工事が始まり、その後多くの歳月と費用を費やして昭和13年(1939年)に白岩砂防堰堤が完成。本堤と副堤合わせて108mと今でも日本一の高さを誇っている。その白岩砂防堰堤が重要文化財に指定されたのが平成21年6月30日。本宮堰堤は泥谷堰堤群と合

わせて平成29年11月28日に重要文化財に指定された。本宮砂防堰堤は高さ22m、堤長107.4mと取り立てて大きなものではないが、その貯砂量は500万m³と日本有数である。いずれの堰堤共流域の保全に果たす役割の大きさ、近代砂防学の発展に大きく寄与したことが認められての重文指定ではあるが、当時、砂防堰堤が重文に指定されたとの新聞記事を読み、無機質な鉄筋コンクリートの構造物が重文とはとかなり奇異に感じたことを覚えている。

というのも、私のような渓流釣師にとって砂防堰堤は天敵のようなものなのだ。多くの場合、前触れもなく現れるそれは、まさに行く手をふさぐ障壁といっていざらう。その人工物は直登はまず不可能。何故なら公共の構造物にボルトハーケンなど打って傷つけるなどものほかだからだ。そして、側壁を登ろうにもたいは急峻かつホールドもほとんど無い所が多い。したがって少し下流に戻っての高



本宮堰堤全景

巻となる。面倒なことこの上ない。

しかし、だからと言って砂防堰堤が果たす役割を軽視するものでは決してない。幼い頃、山里の川辺で育った私は、梅雨時期、台風時期の川の氾濫を嫌というほど知っている。したがって釣師としての砂防安定に対する苦々しい思いと、流域住民としての安心感、相反する思いを抱えて砂防堰堤を眺めるのである。

ガバナー月信担当 地区副幹事
江川 正光 (富山RC)